

## ベリーズ犯罪等発生状況（令和8年3月分）

### [殺傷事件・銃撃事件関連]

3月3日【銃撃事件】 午後9時45分頃、ベリーズ市ファーバーズ道沿いにある住宅において、建設作業員の男性（23歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、秘技男性が自宅で過ごしていたところ、突然、玄関のドア越しに発砲され、複数の銃創を負った。同居していた内縁の妻の通報により、被害男性はカール・ヒューズナー・メモリアル（KHM）病院へ救急搬送されたが、助からなかった。容疑者は依然として逃走中であり、警察が行方を追っている。

3月4日【銃撃事件】 午後9時頃、トレド郡プンタゴルダ町のセロ道において、銃撃により男性1名（17歳）が死亡、別の男性（18歳）が負傷する事件が発生した。警察によると、被害に遭った二人は身元不明の銃撃犯に待ち伏せされ、銃撃を受けた。その後、事件の通報を受けて駆けつけた警察により、プンタゴルダ地域病院へ緊急搬送されたが、このうちの1名は助からなかった。警察はこの事件の捜査を開始し、近隣住民に対し情報を求めている。

3月4日【銃撃事件】 午後11時30分頃、ベリーズ市のブルース通りにおいて、男性（26歳）が銃撃され負傷する事件が発生した。警察によると、被害男性は同通りにある自宅前に車を停車させたところ、突然、ナンバープレートのない車両が横付けし、車内から被害男性に向けて発砲した。容疑者の乗った車両はそのまま逃走し、負傷した被害男性はKHM病院へ搬送された。警察は、引き続き事件に関する捜査を続けている。

3月5日【銃撃事件】 正午頃、ベリーズ市のイグナティウス小学校付近において、男性（26歳）が銃撃され死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性は、小学校に面した通りで知人女性と会話していたところ、別の知人男性が被害男性に近づき、激しい口論となった。その後、容疑者の男が拳銃を取り出し被害男性へ複数回発砲した。被害男性はKHM病院へ搬送されたが死亡が確認され、容疑者の男は駆けつけた警察官により逮捕された。なお、被害男性は数ヶ月前に発生した強盗事件に関与した事件で保釈されたばかりだった。

3月9日【銃撃事件】 午前2時50分頃、ベリーズ郡サンド・ヒル村の住宅において、家屋が銃撃される事件が発生した。事件は、被害に遭った住民から自宅が銃撃されたとの通報があり発覚した。警察によると、この住民は5回の大きな銃声を聞いて目を覚まし、室内を確認したところ、寝室とベッドに5発の銃弾跡を発見した。幸い、この住民はリビングのソファで寝ていたためケガはなかった。この事件の詳細は不明であり、捜査が継続中。

3月9日[刺殺事件] 午後8時30分頃、ベリーズ市グラッデン通りにおいて、ベリーズ国防軍(BDF)の男性兵士(29歳)が刺殺される事件が発生した。警察によると、刺殺された男性兵士は、知人の男と道端で立ち話をしていたところ、激しい口論へと発展し、知人の男が所持していた刃物で刺された。男性兵士はKHM病院へ救急搬送されたが、4時間後に死亡した。容疑者の男は現場から逃走しており、警察は近隣住民へ情報提供を呼びかけている。

3月11日[銃撃事件] 午後5時30分頃、カヨ郡フランクス・エディ村において、リゾート経営者のアメリカ人男性(68歳)が自宅で銃撃される事件が発生した。警察によると、覆面をした3人の男が被害男性宅に押し入り、拳銃で被害男性の妻と子供を人質に取った。容疑者らは家の中を物色し、金等などの貴重品を奪い、被害男性から暗証番号を聞き出し、現金等が保管されている金庫を開けようとした。しかし、金庫が開けなかったため、容疑者らは被害男性を銃撃し、金庫を奪って逃走した。その後、被害男性は西部地域病院へ救急搬送され、治療を受けた。警察は、容疑者らの行方を追って捜査を続けている。

3月12日[銃乱射事件] 午前11時頃、ベリーズ市のイースト・コレット運河付近において、二人組のギャングによる銃乱射事件が発生した。警察によると、この事件により、対立するギャング組織の男(29歳)が死亡、男の妹(27歳)が負傷しKHM病院へ搬送された。容疑者の男らは、自動小銃を乱射した後、現場から逃走したが、付近をパトロールしていた警察が追跡を開始した。追跡の最中、警察官は銃を発砲し、容疑者1名(40歳)が被弾したことにより死亡し、残りの容疑者(21歳)はその場で逮捕された。警察はこの事件をギャング間の抗争とみて、捜査を続けている。

3月14日[刺傷事件] 午後6時45分頃、ベリーズ市キング通り時にある中華系商店において、買い物客の女性(32歳)が刺される事件が発生した。警察によると、別の2人の女性客が被害女性の後ろに近づき、激しい口論からもみ合いに発展し、2人の女性客のうち1人がナイフを取り出し、被害女性を刺した。その後、容疑者らは店から逃走し、被害女性はKHM病院へ救急搬送され治療を受けた。警察は容疑者らを特定しており、行方を追って捜査を続けている。

3月15日[銃撃事件] 午後6時45分頃、ベリーズ市フェイバーズ道付近において、男性(24歳)が負傷する銃撃事件が発生した。一般市民から警察へ、フェイバーズ道で銃声があったとの通報があり、警察官が現場へ急行したところ、いくつかの使用済み薬莖を発見した。なお、被害に遭った男性は、KHM病院へ搬送され治療中だった。警察は、事件現場付近の監視カメラの映像から容疑者を追跡しており、捜査が続けられている。

3月16日[銃撃事件] 午後、カヨ郡ジョージ・ビル村のマヤ・ランチ地区で、警察官の男性が銃撃され負傷する事件が発生し、容疑者として近隣に住む農夫(35歳)が逮捕された。警察によると、被害に遭った警察官は、この地域で発生した土地所有権を巡る紛争の対応中に、容疑者に銃撃された。その後、西部地域病院へ救急搬送され、容態は安定しているものの、重傷を負っている。警察は引き続き、事件の詳しい経緯を捜査している。

3月19日[銃撃殺人事件] 午後9時30分頃、ベリーズ郡サン・ペドロ町において、男性3名が死亡する銃撃事件が発生し、この事件の容疑者である漁師の男(22歳)が逮捕された。警察によると、殺害された男性らは同町にある、木造家屋(被害男性のうちの1人の自宅)で過ごしていたところ、突然、容疑者が押し入り複数発砲した。被害者らは、サン・ペドロ診療所に救急搬送されたが、死亡が確認された。なお、この事件の容疑者として地元漁師の男(22歳)が逮捕されている。

3月25日[銃撃事件] 午後7時45分頃、カヨ郡セントマシューズ村付近のジョージ・プライス・ハイウェイ上において、男性(31歳)が銃撃され重傷を負う事件が発生した。警察によると、被害男性はベルモパン市からベリーズ市方面へ向かって運転していたところ、見知らぬ車が被害男性の車へ横付けし、突然、発砲してきた。この銃撃により被害男性は重傷を負い、西部地域病院へ救急搬送された。警察は、この事件の捜査を続けている。

3月26日[刺殺事件] 午前8時30分頃、スタンクリーク郡プラセンシア村の住宅において、バナナ農園でゼネラルマネージャーを務めるコスタリカ国籍の男性(51歳)が刺殺体で発見される事件が発生した。目撃証言によると、被害男性は近所に住む男に突然刃物で刺され重傷を負い、その後、プラセンシア診療所へ搬送されたが死亡が確認された。警察はこの事件の容疑者として、マヤビーチ在住の男(47歳)を逮捕している。

## [強盗事件・窃盗事件関連]

3月11日[窃盗事件] 午前2時頃、オレンジウオーク郡トライアル・ファーム村の住宅において、窃盗事件が発生した。警察によると、自宅で寝ていた被害男性(52歳)は、飼い犬の鳴き声で異変に気づき外へ出たところ、自分の車からエンジンのコンピューターを持ち去る窃盗犯を目撃した。被害男性はすぐに窃盗犯を追ったが、そのまま逃げられてしまった。なお、この事件の被害総額は、推定5,500ベリーズドル(約42万円)だった。

3月11日[武装強盗] 午後7時30分頃、オレンジウオーク町ヨー・クリーク通り沿いにある商店において、武装強盗事件が発生した。警察によると、拳銃を所持した男が店に押し

入り、物品を強奪して逃走する際に店の入口で複数回発砲した。この発砲により、1人が負傷し、北部地域病院へと救急搬送された。警察は、店の防犯カメラ映像を確認し、容疑者の行方を追っている。

3月13日[空巣事件] 午前8時から午後5時30分頃にかけて、ベリーズ郡バレル・ブーム村の住宅において、空巣事件が発生した。警察によると、被害男性が仕事で留守にしている間に犯行が行われ、被害男性が帰宅した際に窓ガラスが取り外され自宅内が荒らされていたため、警察へ通報した。被害男性宅からは、電気工具が盗まれており、推定被害額は1,000ベリーズドル（約7万8千円）だった。

3月19日[強盗事件] 午前9時45分頃、ベリーズ市コニー道のマタロン・ビルディング付近において、強盗事件が発生した。警察によると、被害男性は同ビル内のベリーズ銀行へ現金を預けようとしていたところ、覆面をした男が近づき所持していた拳銃で被害男性を脅迫し、現金を要求した。命の危機を感じた被害男性は、現金を渡し、強盗犯はそのまま逃走した。

3月23日[侵入窃盗事件] 午前10時30分頃、ベリーズ市マカボニー通りとアドミニストレーション通りの交差点付近にある建設会社の建物において、侵入窃盗事件が発生した。事件は前日の22日午前9時頃に従業員が建物を確認したところ、建物内から複数の工具類が盗まれており、推定被害額は3,250ベリーズドル（約25万円）だった。

3月29日[空巣事件] 午後5時30分頃から翌午前6時頃にかけて、ベリーズ市バラクーダ通りにある住宅において、空巣事件が発生した。警察によると、被害男性が自宅を留守にしている間に犯行が行われ、被害男性が帰宅した際にドアがこじ開けられた形跡があり、自宅内が荒らされていたため、警察へ通報した。被害男性宅からは、プレーステーション5とその周辺機器、ノートパソコンが盗まれており、推定被害額は1,475ベリーズドル（約11万円）だった。

3月30日[武装強盗] 午後9時頃、ベリーズ郡レディビル村の住宅において、武装強盗事件が発生した。警察によると、この家に住むアメリカ人男性（73歳）が妻と過ごしていたところ、覆面をした3人の男が突然押し入ってきた。強盗犯らは拳銃で被害男性を脅し、現金を要求した。命の危機を感じた被害男性は、金庫に保管していた現金と自身が所持していた高級腕時計を渡した。強盗犯らは金品を奪い、そのまま逃走した。この事件の推定被害総額は15,000ベリーズドル（約117万円）だった。

## [違法薬物・違法銃器類関連]

3月6日[違法薬物所持] 午前8時頃、オレンジウォーク郡トライアル・ファーム村において、住民の男性(43歳)がクラック・コカインを所持していたとして逮捕された。警察によると、容疑者が少量の違法薬物を所持しているとの通報を受けた警察が、同容疑者を調査したところ、0.14グラムのクラック・コカインを所持していた。容疑者は黙秘を続けており、警察は裁判を経て事件が解決に向け前進すると述べた。

3月6日[違法薬物所持] 午後2時45分頃、ベリーズ郡レディビル村付近にあるロス・ラゴス地区において、密売目的でマリファナを所持していた男(38歳)が逮捕、起訴された。警察によると、近隣住民から通報を受けた警察官が容疑者の自宅を捜査したところ、約400グラムのマリファナを発見した。後日、ベリーズ地裁に出廷した被告は、麻薬密売の罪により、4,505ベリーズドル(約35万円)の罰金が科せられた。

3月9日[違法銃器類の所持] 午後5時頃、ベリーズ郡フィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ上(オールド・ベリーズ付近)において、登録のない無許可の拳銃を所持していたとして、無職の男(20歳)が逮捕、起訴された。警察によると、ハイウェイ上で被告の車がパンクして立ち往生していたところを警察が通りがかり、念のため車内を調べた際に無許可の拳銃を発見した。後日、ベリーズ地裁に出廷した被告は、銃器類の不法所持の罪により、禁固1年6ヵ月の刑に処された。

3月10日[違法銃器類の所持] 未明、ベリーズ市エレクトリック通り沿いの住宅において、未成年者2名(14歳、17歳)を含む5名の男らが登録のない違法銃器類を所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、近隣住民からの通報を受けた警察が家宅捜査したところ、登録をしていない拳銃及び実弾30発を発見した。後日、被告らはベリーズ地裁へ出廷し、罪状認否後、成人の3人は次回公判まで一時的にベリーズ中央刑務所へ収監され、この事件に関与した未成年者らはワグナー少年院へ収監された。

3月13日[違法薬物所持] 午前10時頃、密売目的でマリファナを所持していたとして逮捕、起訴されたベリーズ郡サンド・ヒル村に住む男(46歳)がベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、以前から違法薬物所持の疑いがかけられていた被告に対し、ドローンによる追跡作戦を行ったところ、241グラムのマリファナを所持していたのを確認した。この裁判で被告には、1年の禁固刑、執行猶予2年の判決が下された。

3月14日[違法薬物所持] 午前8時15分頃、オレンジウォーク郡カーメリタ村において、コカインを所持していたとして女性(48歳)と共犯者の夫(40歳)が逮捕された。

警察によると、情報提供を受けた警察が容疑者宅を家宅捜査したところ、キッチンからコカイン1.35グラムが入ったジップロック式の袋のほか、戸棚からもコカインの入った小さな透明ビニール袋が発見された。後日、容疑者らは正式に起訴される。

3月14日[違法薬物所持] 午前10時頃、オレンジウォーク郡サン・ホセ村において、未成年を含む4名の男(33歳、30歳、18歳、15歳)がクラック・コカインを所持していたとして逮捕された。警察によると、同村で違法薬物の捜査を行っていた警察が容疑者宅を捜査したところ、キッチンからアルミホイルに包まれた0.2グラムのクラック・コカインを発見し、その場にいた4名を拘束した。なお、この容疑者らは、正式に起訴されるまで警察署へ拘留される。

3月24日[違法薬物及び銃器類の所持] 午後5時頃、ベリーズ市ハンディサイド通りの住宅において、ギャングの更生や暴力削減を目的とするリーダーシップ・インターベンション・ユニット(LIU)に所属する男性(31歳)と警備員であるその妻(29歳)が密売目的のマリファナと許可のない銃器類を所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、特別捜査班が入手した情報を基に被告らの住居を捜査したところ、約7キログラムのマリファナと実弾が装填された22口径のリボルバー拳銃を発見した。被告らは、最終判決が下されるまで、ベリーズ中央刑務所へ一時的に拘留されている。

3月24日[クラックパイプの所持] 午後2時頃、コカイン吸引用具を所持していたとして逮捕、起訴されたベリーズ市イースト・キャナル在住の無職の女性(19歳)がベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、パトロール中の警官が路上で挙動不審な被告を見かけ、身体検査を行ったところ約6センチのクラックパイプの所持を確認した。被告は2024年にも同様の罪で、執行猶予付きの有罪判決を受けていた。今回は再犯のため執行猶予は付かず、被告には禁固6ヵ月の刑が下された。

3月23日[違法薬物所持] 午後5時頃、ベリーズ郡ローズ・バンク村の住宅において、密売目的でマリファナを所持してイア男(19歳)が逮捕、起訴された。警察によると、情報提供に基づき同住宅を捜査したところ、約900グラムのマリファナを発見した。後日、被告はベリーズ地裁へ出廷し、1,005ベリーズドル(約7万8千円)の罰金が科せられた。

3月24日[違法薬物所持] 午後9時頃、ベリーズ市マカボニー通りにある住宅において、港湾労働者兼理髪師の男(51歳)が密売目的でマリファナを所持していたとして逮捕、起訴された。警察によると、ギャング情報捜査班が情報提供に基づき同住宅を捜査したところ、約680グラムのマリファナを発見した。後日、ベリーズ地裁へ出廷した被告は、6,505ベリーズドル(約50万円)の罰金が科せられてた。

## [その他事件・事故関連]

3月2日[**移民法違反による強制送還**] 午後3時半頃、ベリーズ市の地方裁判所において、ベリーズに6年間不法滞在していたエルサルバドル国籍の男性(27歳)が移民法違反の罪で出廷した。被告は当初、ギャングの疑いをかけられ警察に逮捕され、後にこの疑いは晴れたが、被告が外国人だったため入管職員にも対応させてところ、ベリーズでの滞在許可証を所持していなかったため拘束、起訴された。地裁判事は被告に、1,005ベリーズドル(約7万5千円)の罰金と、エルサルバドルへの強制送還を命じた。

3月14日[**無免許運転**] 午後4時頃、オレンジウォーク郡ギニア・グラス村で行われていた交通検問において、無免許でオートバイを運転していた未成年の少年(17歳)が逮捕された。警察によると、この少年が運転していたオートバイにはナンバープレートがなく、警官が免許証の提示を求めたが所持しておらず、第三者賠償保険にも加入していなかった。少年はそのまま警察署へ連行され、正式に起訴されるまで拘留される。

3月17日[**送金詐欺**] 午前10時頃、ベリーズ市在住の賃貸仲介業者の男(63歳)が詐欺による財産取得の罪で逮捕、起訴された。警察によると、事件は2023年8月から翌年の1月まで遡り、この半年の間、本来は大家に支払われるべきであった家賃1万ベリーズドル(約75万円)を被告が不正に徴収していた。疑惑が浮上して以来、被告は逃亡を続けていたが、情報提供に基づき逮捕され警察署へ連行された。被告はこの事件の初公判が行われるまでの間、警察署へ拘留される。

3月27日[**不法滞在**] 午前10時頃、ベリーズ国内に10年以上不法滞在していたニカラグア国籍の男(47歳)が逮捕、起訴され、ベリーズ地裁へ出廷した。警察によると、被告は、ベリーズ市のパウンド・ヤード橋付近で酩酊していたところを警察に保護され、身元確認をした際に不法入国者であることが発覚した。被告は、2015年2月頃にカヨ郡のアレナル村(当国の最西端の村)からベリーズへ不法入国し、それ以来、合法的な滞在資格を持たないまま国内に滞在し続けた。地裁判事は被告に対して、罰金1,005ベリーズドル(約7万8千円)の即時支払いと6ヵ月の禁固刑を命じた。なお、刑期終了後、被告はニカラグアへと強制送還される。